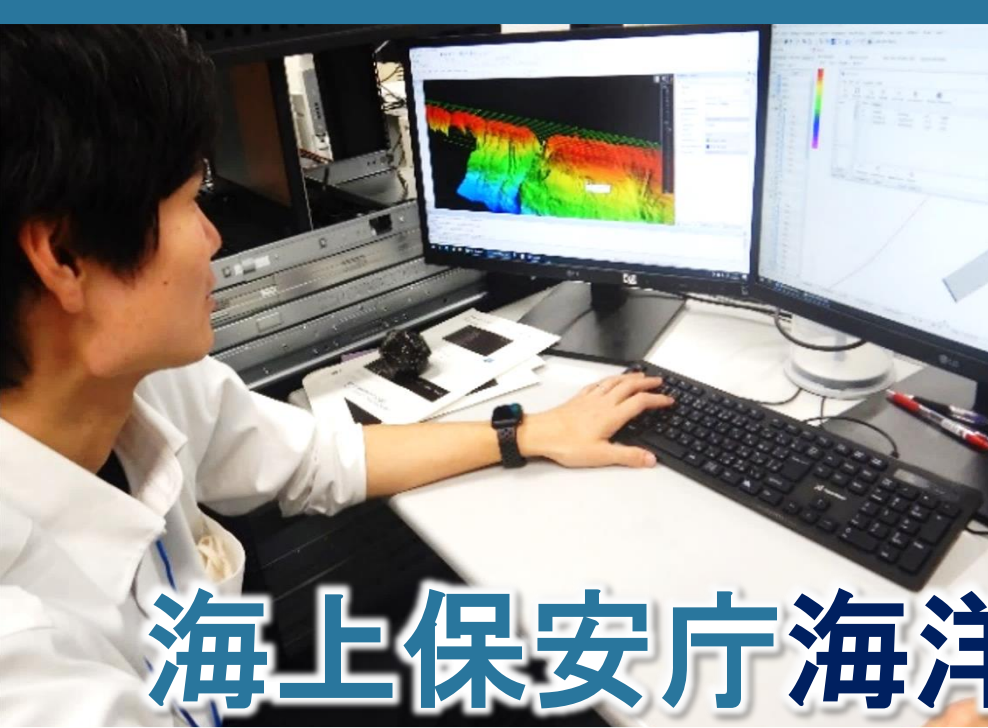




海上保安庁海洋情報部職員募集



フィールドは無限大



海にかかわる、すべての人へ。

海洋情報部は、海に関する多様なニーズに応えるため、最新技術を駆使した海洋調査を行い、様々な海の情報の提供を通じて、新たな海洋立国の実現に貢献しています。

海洋の調査と情報の提供を通じて共に日本の海を支えませんか？

海洋調査により境界画定に貢献でき やりがいと誇りを感じる

大学で測量や海岸工学を専攻していた私は、就職活動中に海洋情報部のことを知り、大学で学んできたこと活かす仕事をしたいと思い入庁しました。

測量船では、日本の海洋権益の確保に繋がる海洋データの収集を行っています。

日本の領海や排他的経済水域の画定に貢献できていることにやりがいや誇りを感じています。船上生活では、水平線の夕日や星空などの美しい景色、鯨やイルカといった海洋生物との出会いなど日常では体験できないことも経験できます。

海図作製や情報提供により 航行船舶の安全を

大学で海洋学を専攻しており、学んだことを少しでも生かしたいと考え、海洋調査や海図作成に携わる海洋情報部がある海上保安庁へ入庁しました。

現在は、民間企業や関係部署からの情報を基に、船舶への航海安全情報の提供や、港や海岸を実際に調査し形状が変化している場所を海図(海の地図)に反映させる業務を行っています。海図は、船舶を運航する上でとても重要な役割を担っています。海図作成や情報提供により航行船舶の安全を守ることによりやりがいを感じています。

自然や環境保全に関わる仕事に就きたいと思い、海洋情報部への入庁を決めました。

現在は、海象(潮汐、海流、潮流など)の観測や情報の提供を行う業務を担当しています。

調査等で得られた海象情報は、航海安全の基礎情報のほか、海難事故では、海に投げ出された人の動きを予測し災害救助活動に貢献します。業務を通じて海上で活動する人の安全確保に携わることができ、やりがいを感じます。

海流・潮流などの海象情報は 災害救助活動にも貢献

最新技術の調査は国益に直結する仕事 高い誇りをもって業務に取り組む

7月

受付 <インターネットによる申し込み>

※ 海洋科学課程を受験してください

9月

第1次試験 基礎能力試験、学科試験（数学、英語）

10月

第2次試験 人物試験、身体検査、身体測定、体力検査

11月

最終合格者発表

翌年
4月～

海上保安学校（海洋科学課程）

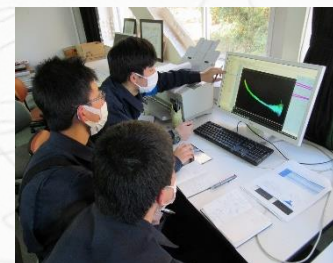
翌翌年
4月～

配属先（本庁・管区海洋情報部）へ

令和7年度より学科試験から物理を削除

海上保安学校 海洋科学課程

海の測量や海象観測、海図編集などの専門知識を学び、乗船実習、測量実習などの実践的な授業で海洋情報業務のエキスパートを育成します。



海洋情報業務の現場へ

本庁、11か所の管区海洋情報部、下里水路観測所へ配属され、航海の安全・防災・環境保全・海洋権益の確保などに関する海洋情報の収集・管理・提供業務を行います。

海洋調査や観測では、船や航空機に搭載した最新鋭の観測機器を駆使し、取得データを自分たちで解析・処理をします。主に事務所でデスクワークとなりますが、日本近海だけでなく、南極地域観測隊への派遣や他国の関係機関との連携などの国際的な業務もあります。このように、海をフィールドとした多種多様な業務に携わることができます。





海洋情報部
採用HP



海洋情報部HP

